

独立行政法人 男女共同参画機構について

独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA：ジーパ）

01

組織概要

目的

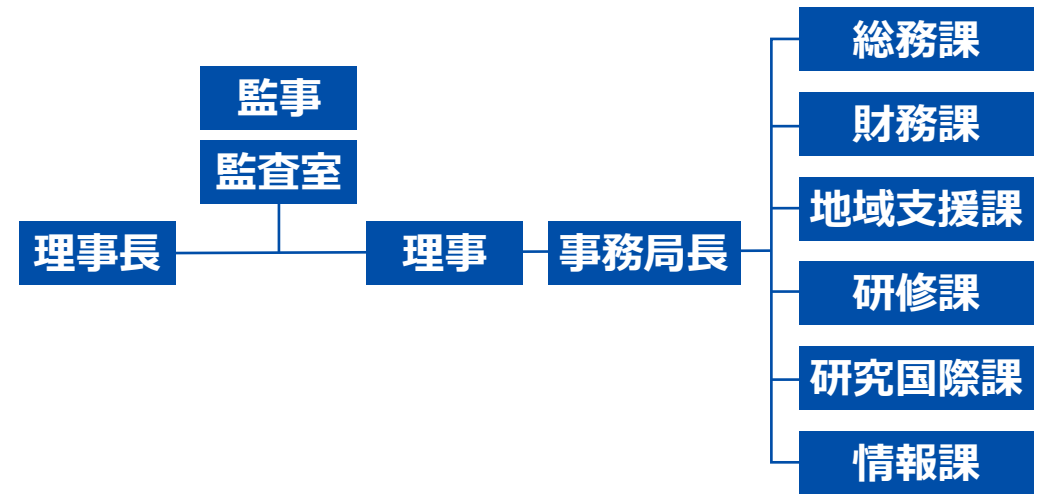
男女共同参画社会の形成促進

- 男女共同参画促進施策に係る関係者相互間の連携及び協働の促進、研修、専門的な調査及び研究等を行うことにより、男女共同参画促進施策の推進を図り、もって男女共同参画社会の形成の促進に寄与することを目的としています。
(独立行政法人男女共同参画機構法 3 条)
- 国、地方公共団体、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策に関する活動を行う民間の団体その他の関係者と連携し、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の推進のための中核的な機関として積極的な役割を果たします。
(男女共同参画社会基本法 10 条の 2)

組織概要

設立年月日 令和 8 年 4 月 1 日
 所管府省庁 内閣府(主管)、文部科学省(共管)
 予算 運営費交付金 657 百万円
 役職員数 47名

組織



男女共同参画機構が担う 2つの機能・役割

国の施策を推進する

ナショナルセンター

男女共同参画基本計画に定める施策全般にわたって、その推進に資する普及啓発、人材育成、調査研究等を行う

地域の活動を支える

センターオブセンターズ

全国各地の男女共同参画センター[※]と連携・協働し、地域において地方公共団体の関係各部署、学校、企業、団体等とのネットワークを形成し、男女共同参画センターをバックアップする

※男女共同参画社会を実現するために、各地域におかれた推進拠点のこと

02

当面の課題・方針

- ・男女共同参画機構において、必要な統計データ等を地域別に集計・整理するとともに、地域における男女共同参画に関する現状と課題を把握するため必要な調査研究に取り組む。
- ・機構が所有する様々な情報・データや歴史的資料等について全国各地で活用できるように、利用者視点に立った情報発信や、デジタルアーカイブ化を推進する。
- ・機構においてセンター等の職員の専門性向上のための研修を実施するとともに、その体系化を進める。機構、センター等、経済団体、民間団体などの多様な主体の連携のためのネットワーク構築に取り組む。
- ・機構において全国的な外部専門人材のデータベースを整備し、全国のセンター等における適切な人材起用を支援する仕組みを構築する。機構及び各地のセンター等相互間で必要な知見及びノウハウを共有するための情報プラットフォームの構築を進めるとともに、ノウハウや好事例・先行事例の収集・横展開を進める。

各地域において、規模や組織形態などに差もある中…

- ①地域のジェンダー課題等の把握にあたっての知見やデータ等が不足。
- ②地域での相談対応や、講座・研修の実施のための知見や人材の確保に課題。
- ③地域の課題解決のための企画立案に向けた知見や人材の確保に課題。



支援・連携



地域

企業・経済団体など

自治会・NPO など

地方公共団体
《男女共同参画センター》

学校・教育機関など

- ⑤男女共同参画に向けた人材育成・様々な外部機関とのさらなる連携の必要。
- ⑥機構の有する貴重な所蔵資料・国際情報等の有効活用に課題。

④地域の関係機関との連携に向けた、知見や人材の確保に課題。

①地域のジェンダー課題等の把握にあたっての知見やデータ等が不足。

- ☞地域のジェンダー課題等が十分に各地域で把握できるよう、機構において、**地域別のジェンダー統計の整備・提供、全国の男女共同参画センターの調査等を進めるとともに、こうしたデータ等の分析も含め、取組を強化。**



②地域での相談対応や、講座・研修の実施のための知見や人材の確保に課題。

- ☞**機構の研修の質・量の向上及び体系化等**を進め、各地域の相談員等の育成を推進する。
(従来) 単発的研修を決まった時期に受講 → (今後) 体系化された研修をいつでも受講可にしていく
- ☞地域のセンター等が、男女共同参画の推進に向けた研修等を地域内で行う際の**研修プログラム・コンテンツ等の開発**を進める。
(従来) 求めに応じて機構が講師を派遣 → (今後) 地域のセンター等の主催研修等も支援
- ☞併せて、機構において**外部専門人材のデータベース整備**を進めるとともに、**男女共同参画センター等同士が様々な知見を共有し、それぞれの活動に活かせる仕組み（情報プラットフォーム）の構築**を進める。

③地域の課題解決のための企画立案に向けた知見や人材の確保に課題。

- 👉 **機構の研修の質・量の向上及び体系化等**を進め、各センター職員等の育成を推進する。
(従来) 単発的研修を決まった時期に受講 → (今後) 体系化された研修をいつでも受講可にしていく

④地域の関係機関との連携に向けた、知見や人材の確保に課題。

- 👉 地域の男女共同参画の推進は、地域の男女共同参画センターや担当部署の努力のみでは達成されない。**センター等と様々な外部機関との優良な連携事例等を収集し、横展開を進めていく。特に、女性デジタル人材育成**に向け取組を進める。

さらに、①～④全体にかかる基盤の構築として…

- 👉 機構・センター間での「顔の見える関係」の強化に向け、**機構の機動性を高めるための取組を進める。**
- 👉 全国会議・ブロック会議 *(R8から開始)*等の機会を設定し、有効に活用。

⑤男女共同参画に向けた人材育成・様々な外部機関とのさらなる連携の必要。

👉 **機構の研修の質・量の向上及び体系化等**を進め、各センター職員、相談員等の育成を推進（再掲）

👉 **教育現場等での男女共同参画の推進**のほか、**地域の防災人材の育成等**も推進。内閣府でこれまで蓄積した知見等も有効活用。



👉 **各大学や経済界との連携**も、今後さらに進め、全国レベルでも男女共同参画の推進に向けた関係者のネットワーク・取組強化につなげる。

⑥機構の有する貴重な所蔵資料・国際情報等の有効活用に課題。

👉 **世界で機構にしか存在しない貴重な女性関係のアーカイブ資料・所蔵資料**について、誰もがいつでもアクセスできるように、**デジタルアーカイブ化を加速**して行く。

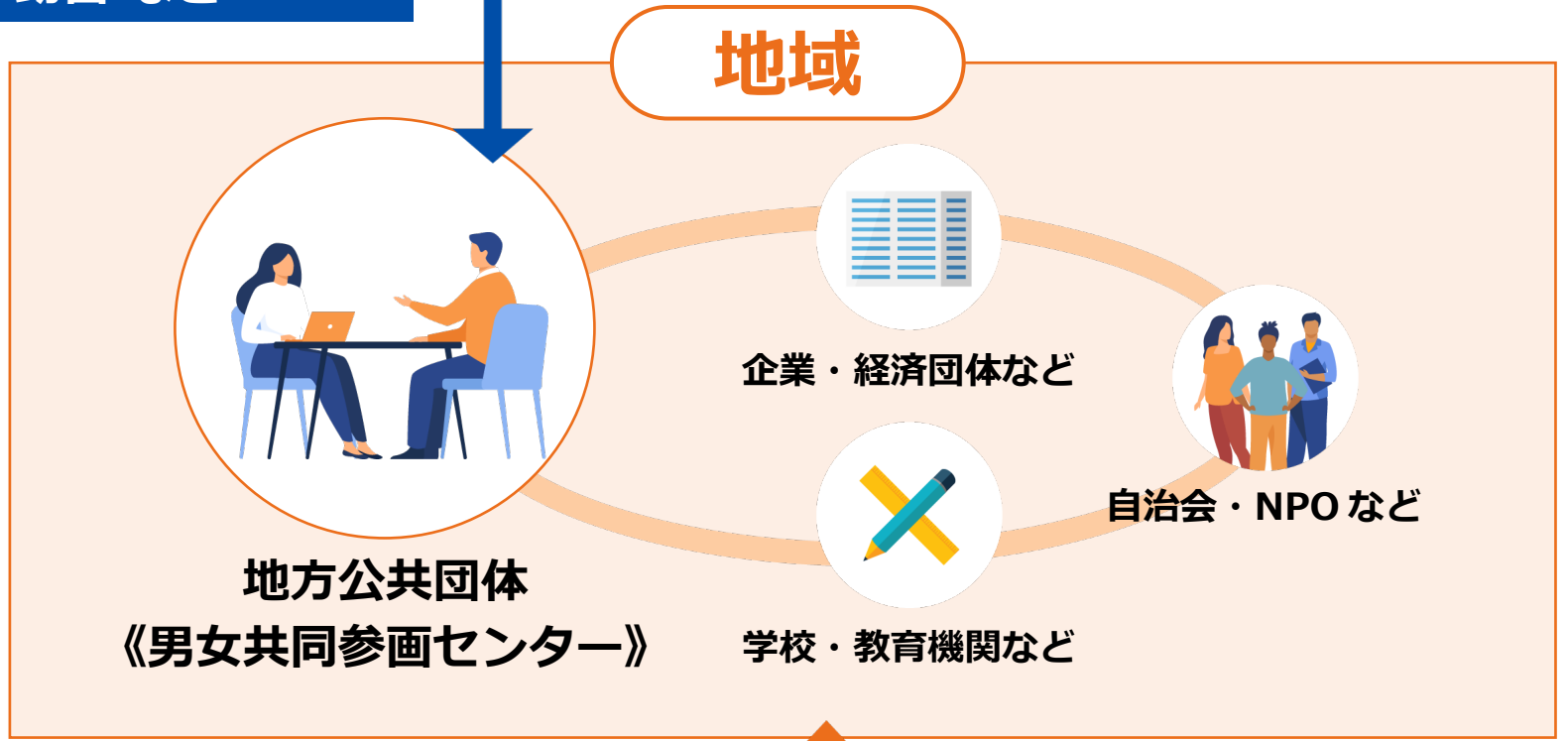
👉 女性情報ポータル「Winet」の**利用推進**に取り組むとともに、国連女性の地位委員会（CSW）等、**収集した国際情報等についての発信・共有**を推進する。



(以下、参考) 機構の事業内容

地域と連携・協働し、課題解決に向けた、最適な取組の実践を支援

- ・ 情報、意見交換の場としてブロック会議（全国7ブロック）や全国会議を実施
- ・ 研修の実施・事例の共有、助言 など



地域のデータを集約・分析

人材育成のための各種研修を実施

男女共同参画センター職員等の育成・専門性向上

対象 センター等の職員

男女共同参画の基礎知識、事業の企画・実施手法などを一括で学べる研修を実施します。

また、男女共同参画センター等（以下「センター等」）の職員の専門性向上を図るため、現下の諸課題に関する研修を行います。

地域の男女共同参画社会の形成の促進を担う関係者の育成・専門性向上

対象 ●教育委員会や学校等の教職員
●センター等の職員

センター等が地域において、企業や経済団体のニーズに合った講座等で効果的に活用できる研修プログラムを開発します。また、学校において男女共同参画を推進する教育・学習に資する研修を実施します。

困難な問題を抱える女性や望まない孤独及び孤立などに直面する男性を支援するための人材の育成

対象 センター等の相談員等

センター等の相談員及び相談事業担当者を対象に、幅広い対象・分野の相談に対する男女共同参画の視点での対応力向上を目指した研修を実施します。

研修体系

地方公共団体や男女共同参画センターの職員等が、地域で男女共同参画を進めるために必要な知識等を修得する機会を提供します。

オンライン研修

※通年オンデマンドで受講可能

基礎講座

自治体職員の知識として必要な基本的事項を学ぶ

講座内容例

- 男女共同参画社会とは
- ジェンダー主流化
- ジェンダー統計
- アンコンシャスバイアス
- 性別役割分担意識 等

分野別研修

基礎研修を踏まえより専門的な分野について学ぶ

- 相談** 相談の対応や手法、法制度など
- 防災** 災害対応、避難所運営など
- 教育** 管理職登用、進路選択など
- 実行支援** 事業立案や広報手法など

地域支援事業として実施 / 対面型研修

- JGEPAが地域に出向き、ブロックごとに実施
- より実践的な内容をグループワーク形式で修得
- 専門人材間のネットワーク構築

- 相談** 相談の対応や手法など
- 実行支援** 事業企画など

男女共同参画社会の実現に向けた

専門的な調査研究を実施

1

地域ごとの男女共同参画・ 女性活躍に関する現状・課題の 可視化のための調査

センター等が地域における男女共同参画・女性活躍に関する現状を把握し、諸課題の解決のために効果的な取組を行えるよう、地域ごとの男女共同参画・女性活躍に関する現状や課題の可視化のための調査を行い、その成果を広くセンター等に提供します。

2

全国の地方公共団体や センター等に対する実態調査

センター等の運営及び業務に関する現状を詳細かつ的確に把握するための調査研究を実施するとともに、地域ごとのきめ細かな課題把握・分析を行い、その結果について広く関係者に提供します。

女性情報ポータル Winet (ウィネット)

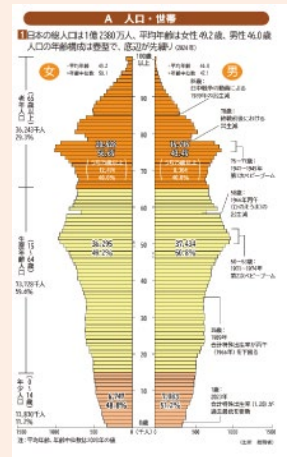
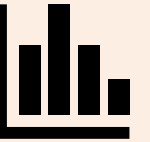
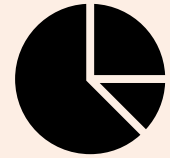
男女共同参画社会形成に資する資料やデータなどを調べるためのポータルサイトを提供しています。



<https://winet.jgepa.go.jp/>

リンク先一覧

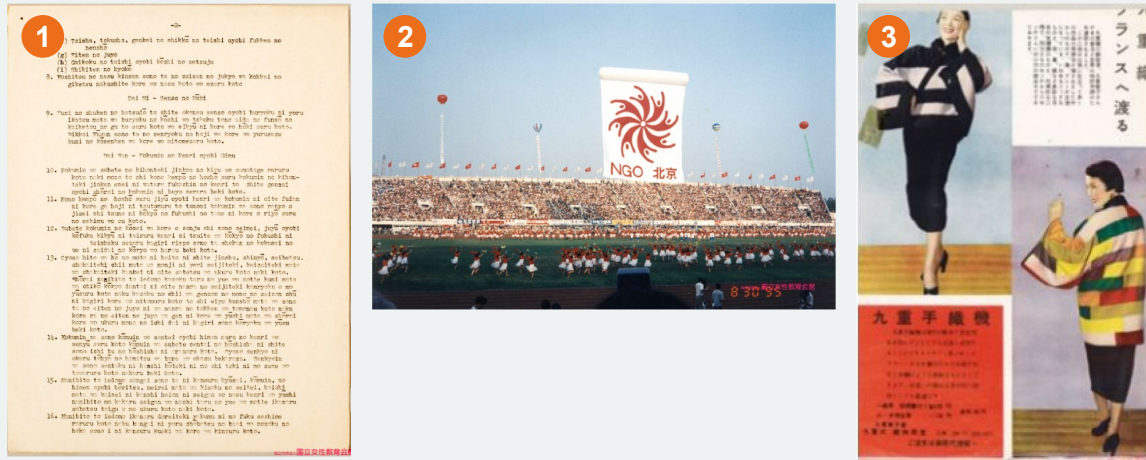
- 1 文献情報データベース
- 2 男女共同参画センターデータベース
- 3 女性と男性に関する統計データベース
- 4 女性情報 CASS
- 5 女性情報ナビゲーション
- 6 女性情報レファレンス事例集
- 7 女性のキャリア形成支援サイト
- 8 男女共同参画機構リポジトリ
- 9 男女共同参画機構デジタルアーカイブ
- 10 JGEPA 災害復興支援女性アーカイブ
- 11 全国女性アーカイブ所在情報データベース



アーカイブズ

男女共同参画・女性活躍に関する貴重な歴史的資料の収集・整理・保存・提供を行っています。所蔵資料の目録と一部のデジタル画像は「男女共同参画機構デジタルアーカイブ」でご覧いただけます。また、オンラインでの展示や、展示で作成したパネルの貸出を行っています。

主な所蔵資料



- 1 ベアテ・シロタ・ゴードン※1資料
- 2 全国婦人新聞社取材写真コレクション
- 3 九重年支子※2関連資料

※1 GHQ民政局員として、憲法の法の下での平等や、両性の平等の原則の草案を作成。
 ※2 簡易手織機の発明家・起業家

パネル貸出

イベント・企画等に活用できるよう、所蔵資料を活用して製作した展示パネルを貸出。



情報ライブラリー

男女共同参画・女性活躍に関する専門図書館を運営。和洋の図書約12万冊、地方行政資料約3万冊、雑誌約4000冊のほか、女性・男女共同参画に関する新聞記事約62万件を所蔵・整理・公開しています。

国内外の取組・知見を収集・発信するとともに、 グローバルな課題解決に貢献

国際的な情報収集と情報発信

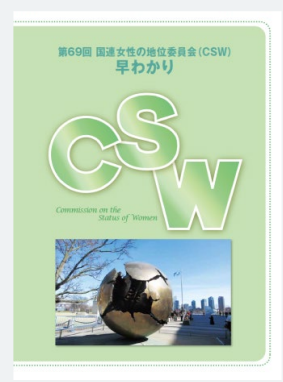
■ グローバルな課題を テーマにしたセミナー

国内外の有識者を招くセミナー等を実施します。



■ 国連女性の地位委員会(CSW)

毎年3月にNYで開催され、加盟国代表等がジェンダー平等に向けた取組や進捗状況を審議します。JGEPAは政府代表団として職員を派遣。情報の収集・発信等を行います。



国際協力機構(JICA)と連携した 諸外国における人材育成

■ 課題別研修「ジェンダーに基づく暴力 (SGBV) の撤廃」 (令和7～9年度)



アジア・アフリカ等の政府・NGO職員が日本の知見を通じ、SGBVの予防や保護を相互に学びます。

■ 課題別研修「人身取引対策グローバル協力促進」 (令和6～8年度)



アジア・アフリカ等の政府・NGO職員を対象に、人身取引対策を促進する国際連携の強化を図ります。

ご清聴
ありがとうございました

JGEPA 独立行政法人 男女共同参画機構
Japan Gender Equality Promotion Agency